生活指導部指導計画

八王子市立加住小中学校

《目標》

小中9年間を通して、人権尊重を基として、よりよい学校生活を送るために、集団の中の一人として自分を見つめ、他者と協力して相手の立場やよさを認め合える、人間性豊かな児童生徒を育てる。

①集団生活に必要な基本的な生活習慣や生活態度の定着を図る。

②児童生徒理解に努め、一人一人に応じた指導を心がけ、よりよい人間関係、信頼関係をつくり、正しい判断力と行動の在り方を習慣付ける。

③人権を重んじ、豊かな心を育み、いじめや暴力、差別のない学校を目指す。

④交通事故や怪我の防止等、物事に対する判断力や行動力を養う。

⑤責任ある行動がとれる自主的な集団を目指す。

《指導実践の方法》

①小中通じて、**挨拶をする**・**規律を守る**・**環境を整備する**、の基本的生活習慣3点に大きな課題がある。本校の重点目標として掲げ、全職員が共通理解の上、指導に当たる

②児童生徒が意欲的に、進んで学習できるような環境を整備するため、小中それぞれの発達段階や状況に合った「かすみスタンダード」を示し、全職員が共通理解の上、指導に当たる。

③目標の徹底を図るため、月毎に一つ目標を設定し、日々の生活の中で計画的に指導する。月末には、生活目標のふり返りを行う。

④児童生徒の実態を基に、生活指導の校内体制をさらに充実させるように心掛ける。

⑤児童生徒の様子については、小さなことでも学年会や夕会等で定期的に情報交換し、共通理解に努める。一人の教員が問題を抱えることなく全教職員で対応していく。

⑥いじめ対策委員会を毎週行い、6月・11月（2月）にはふれあい月間に全児童生徒対象アンケートを実施し、いじめの早期発見や対応に努める。

⑦いじめ・暴力・差別・不登校などの課題に対しては、人権教育を基本に全教職員協力のもと、粘り強く指導する。